

# 社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：31.生活空間の安全確保のための通学路等の整備

事業主体名：滋賀県、大津市、長浜市、近江八幡市、米原市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合性が確保されている。	○
②計画の目標が「活力創出基盤整備」「街路事業」として適切なものとなっている。	○
③数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
④地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	
1) 基幹事業	○
2) 効果促進事業	○
②目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
③指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
⑤ハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
⑥事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
①計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
②継続的な事業の展開が見込まれる。	○